

高齢者虐待の早期発見のための チェックリスト



以下の項目は、高齢者虐待の発見の手掛かりとなる「虐待の危険のサイン」の例です。思い当たることがあれば、**介護福祉課(22-4001内線309)**までご相談ください

高齢者の様子から

- 体に不自然なあざや傷、やけどの痕がある。怪我や傷が治療されていない。
- 汚れたり破れた服をきている。季節に合わない服装でいる。においがある。
- デイサービスなどを利用した時「帰りたくない」などの発言が頻繁にある。
- 必要と思われる受診や介護保険サービスが、家族の理由でなかなか受けられない。
- 高齢者の衣食住にお金がかけていない。

介護者の様子、家庭・地域での様子から

- 世話や介護に拒否的な発言がある。
- 高齢者に面会させない。
- 介護疲れや病気などつらい様子がうかがえる。
- 部屋の中に衣類や食べ残しが散乱していて非衛生的、悪臭が漂っている。
- 高齢者の部屋に外から鍵がかけられている。
- 近所付き合いがなく、外にも怒鳴り声やうめき声が聞こえる。

